



特集

受賞者  
決定!

中部大学発

# 魅力ある授業づくり

## 作品コンクール

〈ポスター〉



森本 麻莉

応用生物学部 応用生物化学科

優秀賞

〈短歌〉

お互いの  
独自の魅力  
持ち寄りて  
創り出される  
知性の泉

村瀬 雅弥

国際関係学部 国際関係学科

優秀賞

〈小論文〉

魅力ある  
授業づくりのための、  
学生の在り方

野村 詩織

工学部 都市建設工学科

優秀賞

〈小論文〉

自己の積極性と購買力の集結

中部大学長賞

山崎 理史

生命健康科学部 生命医科学科

〈エッセー〉

原田 大輔

生命健康科学部 保健看護学科

優秀賞

「学ぶということ」  
中部大学で

〈エッセー〉

酒井 絵理香

応用生物学部 環境生物科学科

優秀賞

「魅力ある  
授業づくり」とは

〈ポスター〉



酒井 絵理香

応用生物学部 環境生物科学科

優秀賞

〈俳句〉

学生の  
主張が飛び交う  
講義室

谷口 駿

工学部 都市建設工学科

優秀賞



日頃、授業について感じることを、思うことを、学生と教職員がともに考えるきっかけづくりとして、本学の学生の皆さんから『魅力ある授業』をテーマとした作品を募集しました。

小論文や講評は ▶ [中部大学 魅力ある授業 作品コンクール](#) [検索](#)

〈漫画〉



各務 恵子

人文学部 歴史地理学科

学生審査員特別賞

〈漫画〉



長尾 明俊

人文学部 日本語日本文化学科

マンガ・イラスト部門賞

〈小論文〉

役立つ授業  
将来において

松本 理奈

人文学部 日本語日本文化学科

〈小論文〉

「学び」の行く末

曾我 靖也

工学部 機械工学科

小論文・エッセー部門賞

公募学生審査員  
のコメント

審査をすることで、『魅力ある授業づくり』について客観的に考えることができ、非常に貴重な体験ができました。

どの作品も説得力があって審査に時間が掛かりました。中部大学の学生と教員全員が作品を作った学生と同じ意識を持てば、授業は必ず良くなると思いました。

共感できる作品と、「そういう感じ方もあるのか」と自分とは違う思いを表現している作品もあって、授業に対する意識が強くなりました。

理想的なのは、学生、先生一人一人がそれぞれ学ぶ、もしくは伝える、教えることに対して高い意識をもって授業に臨むことだと思いますが、成績・評価の方法や授業の展開の仕方など、変えていくべきことは多くあり、学期の途中でもっと授業の中で学生と先生が意見交換をする機会が増えるといいのではと思いました。

〈イラスト〉



丹下 真由美

国際関係学部 国際関係学科

〈俳句〉

あら不思議  
席後ろでも  
筆進む

教職員審査員特別賞

片岡 翔真

国際関係学部 国際関係学科

〈俳句〉

九十分  
聴いてばかりじゃ  
ロスタイム

日向 萌

工学部 都市建設工学科

俳句・短歌部門賞



# 魅力ある授業

『魅力ある授業づくり』は、学生と教員が協同行うものです。

今回は、学生だけで『魅力ある授業』について話し合いました。

参加した学生は前ページ作品コンクールの受賞者6人です。

※参加者の学年は座談会開催当時のもの(敬称略)

## 魅力ある授業とは

**野村(進行)** 今日の座談会のテーマは、「魅力ある授業」です。よろしくお願いします。初めに魅力的だと感じた授業を紹介いただけますか。

**山崎** 先生と学生が一体化した授業です。学生からの質問に対し、次週に先生が答えたり実演したりする授業でした。大教室だったのですが、後ろの席の学生も先生の方にずっと目が向けられ、私語も無く、時々笑い声も起きて和やかな雰囲気でした。先

生と学生との対話が成り立っていると感じました。

**各務** 学生が積極的に授業に参加する授業です。そのためには先生が学生に好かれているかが大事だと思います。つまらないと思う授業でも先生に対して良い感情を持っていると「ちゃんと聞かなくて」という気持ちになります。

**森本** 私は、やる気をもって臨める授業です。授業後に質問したり、先生の研究室に行つて話を聞いたりしている人がいます。それはやる気を持って授業に出席しているからで、やる気がないと講義を聞いても頭に入らず意味がないと思います。まずは、学生が変わらないといけないと思います。

**野村** あと、緊張感のある授業ですね。100人ぐらいの授業でも先生が名指して学生を当てられることがあり、先生に名前を覚えていただけると自分はいれなくなり、さらにやる気が出ます。

**酒井** 今日は、こんな授業を受けた、こういう実験をやったとか、人に伝えたいくなるのが良い授業だと思います。人に話したら授業の内容を忘れないです



都市建設工学科3年  
野村 詩織



環境生物科学科4年  
酒井 絵理香

しね。

**片岡** やはり楽しい授業、自分が勉強したいと思える授業だと思えますが、担当の先生によっても変わると思います。僕が受けたある入門Iの授業では、やる気が出なくて成績もあまり良くなかったのですが、続く入門IIの授業で違う先生になって、楽しく授業に取り組み、しっかり学びました。

**野村** 友達と「もつこうしたら授業が聞きやすいのに」と話したことはありますか？

**森本** 授業中に私語が多くて先生が説明するのを中断したことがあります。しばらく沈黙が続いたのですが、授業後に友達と「今日の授業、印象悪かったね」と話したことがあります。

**野村** 周りの人との温度差はありますが、やる気は感化しますね。ちなみに自分のやる気が増したような授業はありますか？

**酒井** 授業の最後に小レポートで質問などを書き、次週に前回の意見や考え方を先生が紹介する授業がありました。

**野村** ファイードバックですね。  
**酒井** 一緒に授業を受けた人たちの考え方に触れて「こういう理

解の仕方もあるんだ」と分かる、先生の言葉を聞き逃さないようにしようという気持ちが高まります。

**山崎** 授業の雰囲気がとても怖い先生がいました。当てられた人が答えられないのを笑ったりすると、笑った人が次に当てられまです。私語も居眠りも一切無かったです。授業はみんな真剣でした。厳しかったけどメリハリがあつて、楽しい授業でもありました。

**野村** 厳しさ100%でもなく？  
**山崎** 厳しさ90%でした。学生はみんな、そういう先生だと理解していて、先生との仲も良かったです。

**酒井** 環境生物科学科で森の中を探索する授業があつたのですが、そういう授業ではみんなテンションが上がりますね。

**森本** PASEO(ハセオ:Preparation for Academic Study in English Overseas)の授業でキャンパスプラザなどに行つて受講者同士が全て英語で会話する日がありました。教室で会話の練習をするよりも楽しくて、より実践的で、臨場感がある授業でした。他の英語の授業でも取り入れて欲しいと思います。



国際関係学科2年  
片岡 翔真



歴史地理学科2年  
各務 恵子

**片岡** ある授業で、とても手ごわい課題が出たのですが、先生への対抗心に燃えて、良い成績を取りたいという思いが強くなり、がんばりました。

## 教える側と学ぶ側のギャップ

**野村** 授業評価アンケートなど学生が授業づくりに参加することや、授業について感じていることはありませんか？

**山崎** 授業評価アンケートで気になったのは学生の回答率です。学生からの「声が聞こえない」という意見に先生のコメントが「今後も特に自分の方針は変えませんが」と書いてあったのを見て…

**一同** (笑)

**山崎** 確かに回答率が3%では説得力がなく、もっと回答率が上がらないと、先生も自分の方針を変える決断はしないのだと思います。

**酒井** 学生と先生の立場が逆転する授業があってもいいと思います。他の人に教えることは、教える学生にとってもいろいろと勉強しなければなりません。また、先生方もその様子を見ることで

「声が小さいな、自分も気をつけなくて」と振り返るかもしれないですね。

**山崎** じつは、教科書を買っても全く使わなかった授業があったのですが…。

**野村** 私が受けた授業で「教科書は君たちが予習復習の時にしっかり読むべきもので、大学には持つてこなくていいよ。しっかり使つてね」と話された先生がいらっしゃいましたが、教科書を使わない授業はどうですか？

**森本** プリントが配布されてパワーポイントの内容を穴埋め式で書き込む授業がありました。でも、授業中に書き込まずに画面を携帯で撮影する学生が増えています。真つ白な紙に全て書き写す方式に変わりました。とはいえ、相変わらず撮影して書かない学生はいました…。

## 先生の人柄も…

**野村** やる気にさせる授業は何で決まると思いますか？授業内容以外に単位が取りやすいとか、良い成績が取りやすいなどの情報や、担当の先生がどなたかということも気になりますか？



生命医科学科2年  
山崎 理史



応用生物化学科1年  
森本 麻莉

**酒井** 最初から内容に興味がある授業であれば、少しくらい厳しい先生でも大丈夫。でも、あまり興味が無い必修授業などでは褒めてくれる先生のほうが内容にも興味が湧くかもしれないですね。

**森本** 私は歴史が好きなので教養科目の「日本の文化と歴史」を取りました。単位が取りやすいことよりも自分がやりたいかどうか、内容に興味を持てるかどうかを基準にすると、楽しく授業が受けられると思います。

**各務** 単位が取れるかどうかも重要です。同じ科目でもすごく厳しくて単位が取りにくい先生がいたのですが、自分は分りやすく優しく教えてもらえる先生だったので気持ちも落ち着いて授業に集中できたことがありました。

**山崎** 成績評価の基準がはっきりしていることですね。シラバスに「出席、テスト、レポートを見て総合的に評価する」としか書いてない先生もいます。評価の基準がはっきりしていないと何を頑張ればいいのか分かりません。仮にテストを頑張ってもレポートには力を入れた結果、じつは

出席2割、テスト2割、レポート6割で、その成績が評価Cだとなりがいけません。そういったことが無いようにシラバスはよく読みます。

**野村** お薦めの授業について先輩や後輩、友達と話したりすることはありますか？

**片岡** 僕はシラバスなどの情報に頼らずに科目の名前から直感で面白そうだなと思った授業を選んでいきます。最初の授業で内容や進め方、成績評価の基準も説明されるので、自分に合わないと思ったら履修を取り消します。

**森本** 授業の内容については個人の好みや相性という部分も大きいので、その辺りは自分で判断して決めたいと思っています。

**各務** 授業の内容が楽しいかではなくて、担当の先生がどういう人かについてはよく話しますね。やはり先生の人柄も科目を決める際の大切な要素だと思います。

**野村** 私は作品コンクールをきっかけに、初めて友達と「あの授業すごく良いよね。特にこういうところが…」などと熱く語り合いました。「魅力ある授業」はいろいろな要素があると思いますが、クラス全体の雰囲気はとても大事です。先生だけではなく、私たち学生も授業に参加する姿勢を見つめ直すことが必要だと感じました。拙い進行でしたが、本日はありがとうございました。